

# 年間指導計画

教科		科目		履修対象年次	単位数
情報		社会と情報		1	2
科目担当者 小野寺 広恵					
身に付けられる力		・情報を収集, 処理, 表現する力 ・コミュニケーション能力 ・情報リテラシー能力 ・情報化の進展に主体的に対応できる能力			
学期	月	授業 時数	単元名	学習活動	身に付けられる力
1 学 期	4	4	1章 情報社会とわたしたち 1. 情報社会	・コンピュータ室でのマナーや、基本的な操作を習得する。	・基本的な情報活用能力
	5	8	2. 情報とメディア	・情報のデジタル化によるコミュニケーションの変化を、ペアワークやグループワークで共有する。	・情報を収集, 処理, 表現する力
	6	8	3. 情報モラルと社会のルール	・メールやSNSを利用する際のモラルとマナーや、著作権などについてグループワークで共有する。	・コミュニケーション能力 ・情報リテラシー能力
	7	4	2章 情報機器とデジタル表現 1. 情報機器とデジタル	・実物を用いながら情報機器の種類と特徴、インタフェースについて学ぶ。	・情報リテラシー能力
	8				
2 学 期	9	6	2. デジタル表現	・アナログとデジタルの意味や、2進数など実習や、グループワークで共有する。	・情報を収集, 処理, 表現する力
	10	8	3章 表現と伝達 1. 表現の工夫	・レポートなどの作成を通じて、文字・表・図形・画像などを工夫して利用したり、わかりやすい情報伝達について学ぶ。	・情報を収集, 処理, 表現する力
	11	8	3. プレゼンテーション	・オリンピックを題材にしたスライドを作成し、プレゼンテーション実施の流れや、評価方法について学ぶ。	・情報を収集, 処理, 表現する力 ・コミュニケーション能力
	12	6		・効果的なスライドや発表となるようにグループで評価し合う。	・情報リテラシー能力
3 学 期	1	6	4章 コミュニケーションとネットワーク 1. コミュニケーション	・電子メール・SNSなどインターネットにおける機能やサービスを利用したコミュニケーションと留意点について学ぶ。	・コミュニケーション能力
	2	8	2. ネットワーク 3. 情報セキュリティ	・TCP/IPなどプロトコルについて理解し、 実習でIPアドレスを確かめる。	・情報リテラシー能力
	3	4	5章 情報社会と問題解決	・身近な情報システムの仕組みと働きや、最新の情報技術について、パワーポイントを用いて各自発表を行う。	・情報化の進展に主体的に対応できる能力
合計時数		70			
教科書 副教材		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実教出版「最新社会と情報 新訂版」</li> <li>・実教出版「最新社会と情報&lt;&lt;新訂版&gt;&gt;学習ノート」</li> <li>・実教出版「ポイントでマスター 基礎からはじめる情報リテラシー Office 2016対応」</li> </ul>			
評価の方法・観点		定期考査70～80%、提出物・授業の取り組み20～30%			
履修上の注意点		課題や、配付されたプリント類などは、指定のノートに貼る。 指定のノートは毎時間提出できるように準備しておく。			
特記事項等		なし			